

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三菱電機ロジスティクス(株)関東LC1	階数	地上3F
建設地	座間市小松原1丁目	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域	平均居住人員	20人
気候区分	地域区分	年間使用時間	2,500時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年6月 予定	評価の実施日	2012年5月25日
敷地面積	32,845 m <sup>2</sup>	作成者	(株)竹中工務店
建築面積	6,826 m <sup>2</sup>	確認日	2012年5月25日
延床面積	17,130 m <sup>2</sup>	確認者	(株)竹中工務店



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6** ★★★★★

S: A: B+: B: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 83%

上記+ 以外のオンサイト手法: 68%

上記+ オフサイト手法: 68%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 0.0

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 4.1

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 1.8

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.8

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 4.2

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 3.6

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 3.5

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
基礎免震構造で信頼性を確保し、窓、昼切制御で自然エネルギー利用を図り、LED照明器具にて環境負荷の低減を図っている。	特になし
<b>Q1 室内環境</b> 窓、バルコニーの扉を分散配置し、通風換気有効な開口面積を確保している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 構内道路で敷地内の通風が考慮されている。
<b>LR1 エネルギー</b> 屋根を主に太陽光発電320kwを設置し外部送電している。LED照明器具を採用している。1階の荷捌きエリアは採光が確保しやすく、昼光センサー制御を採用している。CEC-Lが0.37である。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型便器を採用している。内装仕上げがほとんど無く、外装も乾式工法で解体時に分離しやすい。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたし